

○教育課程特例校(英語科)に関わる本校の取組について

本年度も、1～2学年では、英語に慣れ親しむことをねらいとし、小学校第3～6学年においては、積極的にコミュニケーションを図る姿勢を育てられるよう外国人講師を招き授業を工夫してきました。例えば、1年生では、お店やさんごっこ形式で、「オリジナルパフェをつくる」ということを目的とした活動を行いました。4年生では自分でオリジナルのピザの絵を描いて、その具などを説明しながら外国人講師が食べたくなるような呼びかけをたり、3年生では柳ヶ瀬探検で見つけた地域の特色を自分なりにまとめて、写真と共に英語で案内できる練習をするなど、英語を使う活動、できる限り必然性のある場面を工夫し、楽しみながら取り組む学習を行いました。こうした実践の成果と課題をふまえて、今後も外国人講師の支援を受けながら、コミュニケーション能力の育成をめざして取り組んでまいります。今後は、岐阜市が推奨する「岐阜市を英語で紹介」「岐阜市の道案内」「岐阜市のおいしい店の紹介」といった相手意識をもった活動も企画してきたいと思えます。また、ブラジルのカンピーナス市とは岐阜市が姉妹都市提携をしている関係で、リオ・ブランコ学園と絵画の交流などを行っています。ここでも外国の文化を知ると同時に、英語をつかったコミュニケーションにも興味をもってもらいたいと考えています